

こどもが参画するまちづくり

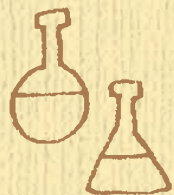


ふくしまの子・ふるさとの商店街
プロデュース事業

成果報告書



3年間9地域の取組について



ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.

ふくしまの子・ふるさとの商店街プロデュース事業の概要

県内のこども達は、大型店での買い物スタイルやインターネットによる通信販売の浸透等に加え、東日本大震災及び原子力災害の影響による避難生活や商店街における事業の休止等により、ふるさとの顔である商店街に足を運ぶ機会が減少し、ひいてはまちづくりについて考える機会が減少していることが危惧されています。そこで、こども達が商店街やまちづくりについて楽しく学びながら商店街の賑わい創出に向けた取組を検討・実践する機会を通し、「こども達のアイデアによる商店街の賑わい創出」と「ふるさとへの愛着心(まちづくり参画への第一歩)の醸成」を図るため本事業を実施いたしました。

実施団体

平成27年度

- 本町商店街(会津若松市)
(委託先:株式会社まちづくり会津)
- 栄町商店街(南相馬市)
(委託先:栄町商店街振興組合)
- 市内の9商店街(本宮市)
(委託先:もとみや商店街協同組合)

平成28年度

- 会津若松市役所通り商店街(会津若松市)
(委託先:会津まちづくりパートナーズ合同会社)
- 郡山市中央商店街・郡山市大町商店街(郡山市)
(委託先:NPO法人まごっせKORIYAMA)
- 常葉中央通り商店街(田村市)
(委託先:常葉中央通り商店会)

平成29年度

- 福商けやき通り商店街(福島市)
(委託先:福商けやき通り商店会)
- 会津田島駅を中心とした商業エリア
(委託先:会津まちづくりパートナーズ合同会社)
- 県庁通り商店街
(委託先:株式会社エス・シー・シー)

STEP 01

ワークショップで楽しく学ぼう!

～ワークショップ運営事業～

商店街がどんなところかを知るために、まち歩きをしたり、お店を見学して、楽しみながら学びました。



STEP 03

こども達のアイデアを商店街で本当に実現しました!!

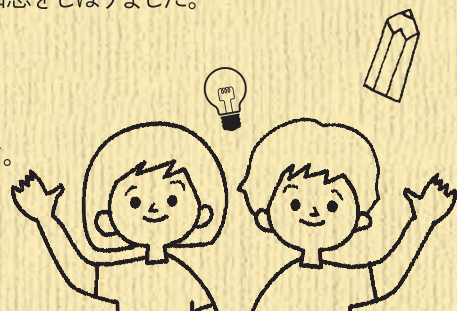
～賑わい創出事業～

こども達のアイデアを実現することがこの事業の最大のポイントです。考えるだけで終わることなく、現実のものとなりました。

STEP 02

商店街の様子を肌で感じ、賑わいを呼ぶためのアイデアを考えました

どうしたら商店街に賑わいが生まれるのか…
たくさんの人に来てもらうためには何が必要なのか…
私たちのふるさを元気にするにはどうすればよいのか…
みんなの知恵をしぼりました。



会津若松市

本町商店街

□「ほんまちカフェよみがえる」の営業

商店街では、かえるの声が最近まで聞かれていた状況だったことから、かえるをキャラクターとして、「閉まっているお店をなくしたい」「いいにおいのするお店が欲しい」という子ども達のアイデアをもとに、買い物客をはじめとする来街者用の休憩スペースとしてカフェを整備・運営した。

□「かえる」をテーマとした人形やフラッグを設置し、商店街の景観を統一することにより、来街者へのイメージアップを図った。



南相馬市

栄町商店街

□ワークショップの販売体験で、商店街に賑わいを取り戻すためには「食」が重要であると考えたことから、商店街で買うことができるオリジナル商品(コロッケ、そばクッキー、かぼちゃプリンなど)を開発した。



本宮市

市内の9商店街

□もとみやライトファンタジア

「イルミネーションを飾りたい」「ハロウィンをやりたい」という子ども達のアイデアをもとに、光る衣装をまとい、商店街をパレードしたほか、子ども達の絵をライトアップした。

□商店街すごろく大会

「職業体験をしたい」「商店街を探検したい」「ゲームがしたい」という子ども達の意見から、商店街の店舗をすごろくのマスとし、さいころの目に応じて各店舗を訪問。鰻屋でどじょうすくいをするなど、様々なイベントを体験しながらゴールを目指した。



会津若松市

会津若松市役所通り商店街

□ボクらの遊び場/駄菓子カフェ

「新しいお店を増やしたい」「子どもが来るようなお店が欲しい」という子ども達のアイデアから、気軽に立ち寄り、交流できる場所として、駄菓子や飲み物を提供する店舗の試験営業を行った。

□まちなか探検/開運・五福小地藏探し

商店街内を来街者が回遊するための仕組みとして、商店街のシンボルである「おさすり地蔵」にちなんで「小地蔵」を子ども達のデザインをもとに作成し、「小地蔵探し」のイベントを実施した。



郡山市

郡山市中央商店街・郡山市大町商店街

□「ユーチューバーになって、色々な動画を作りたい」という子ども達の意見をもとに、商店街のCMを子ども達が制作し、You Tube(ユーチューブ)による魅力発信を行った。

□「商店街に遊園地が欲しい」というアイデアをもとに、音や映像を使ったホラーハウス(お化け屋敷)を設置した。

□商店街が子ども達の遊び場となるよう、子ども達が運営に主体的にかかわるカードゲーム大会を実施した。



田村市

常業中央通り商店街

□駄菓子や「にゃんこ」の営業

「街に駄菓子屋が欲しい」「子ども達が気軽に立ち寄れる場所が欲しい」というアイデアから、駄菓子屋の試験営業を行うとともに、職業体験を行った。

□商店街内を来街者が回遊するための仕組みとして、スタンプラリー及びキーワードラリーを実施した。

□多目的スペース「ハイリヤンセ」を利用し、商店街内に子ども達が気軽に立ち寄れる休憩スペースを設け、商店街への来街者を増加させるための拠点を整備した。



福島市

福商けやき通り商店街

- 仮想の街並みを再現し、商店街の個店などが出店するとともに、ステージやゲームコーナーなどを設置したイベントを開催。主に子ども達が楽しめる様々な催しを行い、子ども達が接客体験を行った。
- 子ども達の「商店街に顔出しパネルを設置する」というアイデアを活かし、顔出しパネルを巡るスタンプラリーを実施し、来街者が商店街を回遊する仕組みを作った。
- 商店街のテーマソングを制作し、各個店や商店街のイベントでテーマソングを積極的に活用することで、来街者にテーマソングを覚えてもらい、商店街の認知度アップを図った。



南会津町

会津田島駅を中心とした商業エリア

- 「会津田島駅や電車を活用してお客さん呼び込む」という子ども達のアイデアを活かし、会津鉄道の車両に、子ども達が考えた動物や自然を中心とした「南会津らしさ」を題材にデザインした絵をペインティングし、走行させた。
- 商店街の情報や魅力を盛り込み、車両にペインティングした絵を散りばめた「南会津商店街マップ」を作成し、来街者が商店街を回遊する仕組みを作った。



福島市

県庁通り商店街

- 「アーケードをカラフルにしたい」「きれいで歩きたくなるような商店街にしたい」という子ども達のアイデアを活かし、商店街の各店舗壁面やアーケード天井に大小様々なマスキングテープアートを飾り付けた。
- 商店街に隣接するエリアのシンボルである福島稲荷神社と連携し、商店街のPRや来街のきっかけづくりとするため、お守りマスキングテープを制作した。
- 子ども達の「スタンプラリー実施」「商店街活性化交流イベント実施」「SNSを使った情報発信」というアイデアを織り交ぜたスタンプラリーを実施し、来街者が商店街を回遊する仕組みを作った。

STEP
04

現在、子ども達は、家族や学校の先生以外の大人達と、深く関わる場面が少ないと言われています。地域の大人達と関わることで、新たなコミュニケーションが生まれるとともに、学びの場となりました。また、子ども達のアイデアを実現させるため、商店街の大人達も一致団結することができました。商店街に子どもの姿があることで、大人も元気をもらいました。さらに、まちづくりに子どもが参画することで、話題性も高まりました。

事業に参加した子ども達の声

- 大型店で買い物が当たり前でしたが、商店街はくらしに大切で、身近な場所と感じました。
- 商店街に賑わいを呼びかけづくりができて良かったです。
- 地域のことを考えるきっかけになりました。
- 子どもがまちの未来に関わることに、もっと取り組みたいです。
- 楽しそうなお客さんの姿が、とてもうれしかったです。
- ふくしまをもっと元気にしたいです。
- 商店街のお店の印象が変わりました。

事業に関わった商店街の声

- 商店街が明るくなり、若い世代が多く来てくれました。
- お店を知っていただくいい機会になりました。
- 子ども達の笑顔が商店街にあることはいいことです。

各地域の賑わい事業に参加した一般の方の声

- 日頃なじみのないお店に入ることができて良かったです。
- 商店街を普段利用していませんでしたが、お店を知ることができてよかったです。

